

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人長岡東山福祉会

平成28年度社会福祉法人長岡東山福祉会重点施策及び運営方針に基づき、次の事業を実施した。

【社会福祉法人長岡東山福祉会本部事業】

1. 事業運営の成果

(1) 理事会の開催状況

開催日	出席者数	提出議案
4月1日	理事9/9名	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人長岡東山福祉会理事長の互選について ・社会福祉法人長岡東山福祉会理事長の職務代理の指名について
5月27日	理事8/9名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人長岡東山福祉会「特別養護老人ホームかつぼ園印刷機入替え整備事業」に伴う入札結果について（報告） ・社会福祉法人長岡東山福祉会「特別養護老人ホームかつぼ園第2駐車場整備工事」に伴う入札結果について（報告） ・平成27年度社会福祉法人長岡東山福祉会予算の流用について（報告） ・平成27年度社会福祉法人長岡東山福祉会事業報告及び決算、並びに監事監査報告について ・短期入所事業かつぼ園短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）運営規程の一部改正について
11月22日	理事9/9名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人長岡東山福祉会定款の一部改正について
12月26日	理事7/9名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団平成28年度施設整備等助成金の交付決定について（報告） ・平成28年度介護人材確保推進事業補助金による動画作成について（報告） ・平成28年度社会福祉法人長岡東山福祉会第1次補正予算について ・社会福祉法人長岡東山福祉会定款の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会個人情報の利用目的の一部改正について ・短期入所事業かつぼ園短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）運営規程の一部改正について ・在宅介護支援センターかつぼ園居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について ・介護プランセンターふそき居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について ・長岡市地域包括支援センターふそき長岡市地域包括支援センター（介護予防支援）運営規程の一部改正について ・デイサービスセンターかつぼ園通所介護（介護予防通所介護）運営規程の一部改正について

開催日	出席者数	提出議案
12月26日	理事7/9名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡市デイサービスセンターふそき通所介護（介護予防通所介護）運営規程の一部改正について ・長岡市デイサービスセンターふそき認知症対応型通所介護（介護予防認知症対応型通所介護）運営規程の一部改正について ・デイサービス花の里かつぼ共用型認知症対応型通所介護（共用型介護予防認知症対応型通所介護）運営規程の一部改正について
2月9日	理事9/9名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人長岡東山福社会定款の認可について（報告） ・社会福祉法人長岡東山福社会定款の一部改正について ・特別養護老人ホームかつぼ園の定員増員と短期入所事業かつぼ園の定員減員について ・社会福祉法人長岡東山福社会評議員選任・解任委員会運営規則の制定について ・社会福祉法人長岡東山福社会選任・解任委員の選任について ・社会福祉法人長岡東山福社会評議員候補者の推薦について
3月27日	理事8/9名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度社会福祉法人長岡東山福社会第2次補正予算について ・社会福祉法人長岡東山福社会定款細則の制定について ・社会福祉法人長岡東山福社会管理運営規則の一部改正について ・長岡市デイサービスセンターふそき ぐらし元気アップ事業運営規程の制定について ・社会福祉法人長岡東山福社会個人情報に関する基本方針の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福社会個人情報の利用目的の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福社会個人情報保護規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福社会個人情報文書等管理規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福社会個人情報に係る開示等に関する規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福社会福祉サービスに関する苦情解決実施要領の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福社会育児・介護休業等に関する規則の制定について ・社会福祉法人長岡東山福社会給与規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福社会準職員等給与規則の一部改正について

開催日	出席者数	提出議案
3月27日		<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人長岡東山福祉会運用財産基金規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会経理規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会経理規程細則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会資金運用規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会事務処理規程の一部改正について ・平成29年度社会福祉法人長岡東山福祉会事業計画並びに当初予算について ・社会福祉法人長岡東山福祉会評議員の選任について（報告）

（2）評議員会の開催状況

開催日	出席者数	提出議案
5月27日	12/19名	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人長岡東山福祉会「特別養護老人ホームかつぼ園印刷機入替え整備事業」に伴う入札結果について（報告） ・社会福祉法人長岡東山福祉会「特別養護老人ホームかつぼ園第2駐車場整備工事」に伴う入札結果について（報告） ・平成27年度社会福祉法人長岡東山福祉会予算の流用について（報告） ・平成27年度社会福祉法人長岡東山福祉会事業報告及び決算、並びに監事監査報告について ・短期入所事業かつぼ園短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）運営規程の一部改正について
11月22日	16/19名	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人長岡東山福祉会定款の一部改正について
12月26日	14/16名	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団平成28年度施設整備等助成金の交付決定について（報告） ・平成28年度介護人材確保推進事業補助金による動画作成について（報告） ・平成28年度社会福祉法人長岡東山福祉会第1次補正予算について ・社会福祉法人長岡東山福祉会定款の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会個人情報の利用目的の一部改正について ・短期入所事業かつぼ園短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）運営規程の一部改正について ・在宅介護支援センターかつぼ園居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について

開催日	出席者数	提出議案
12月26日		<ul style="list-style-type: none"> ・介護プランセンターふそき居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について ・長岡市地域包括支援センターふそき長岡市地域包括支援センター（介護予防支援）運営規程の一部改正について ・デイサービスセンターかつぼ園通所介護（介護予防通所介護）運営規程の一部改正について ・長岡市デイサービスセンターふそき通所介護（介護予防通所介護）運営規程の一部改正について ・長岡市デイサービスセンターふそき認知症対応型通所介護（介護予防認知症対応型通所介護）運営規程の一部改正について ・デイサービス花の里かつぼ共用型認知症対応型通所介護（共用型介護予防認知症対応型通所介護）運営規程の一部改正について
2月9日	17/19名	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人長岡東山福祉会定款の認可について（報告） ・社会福祉法人長岡東山福祉会定款の一部改正について ・特別養護老人ホームかつぼ園の定員増員と短期入所事業かつぼ園の定員減員について
3月27日	15/19名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度社会福祉法人長岡東山福祉会第2次補正予算について ・社会福祉法人長岡東山福祉会定款細則の制定について ・社会福祉法人長岡東山福祉会管理運営規則の一部改正について ・長岡市デイサービスセンターふそき 暮らし元気アップ事業運営規程の制定について ・社会福祉法人長岡東山福祉会個人情報に関する基本方針の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会個人情報の利用目的の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会個人情報保護規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会個人情報文書等管理規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会個人情報に係る開示等に関する規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福祉会福祉サービスに関する苦情解決実施要領の一部改正について

開催日	出席者数	提出議案
3月27日		<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人長岡東山福社会育児・介護休業等に関する規則の制定について ・社会福祉法人長岡東山福社会給与規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福社会準職員等給与規則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福社会運用財産基金規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福社会経理規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福社会経理規程細則の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福社会資金運用規程の一部改正について ・社会福祉法人長岡東山福社会事務処理規程の一部改正について ・平成29年度社会福祉法人長岡東山福社会事業計画並びに当初予算について

(3) 法人本部の取り組み

- ・事務局会議を定期的で開催し、法人運営に係る事項について協議を行った。
- ・管理監督者及び次世代のリーダーを育成するため、研修の企画と実施及び部署内の課題の明確化と改善策の実施と発表を昨年度に引き続き実施した。
- ・人材確保が困難な状況となるなか、県の補助金を活用し法人 PR の一環として動画を作成しホームページにアップした。好評であり求人活動に一定の効果がみられた。
- ・社会福祉法人制度改革の施行に向け、法令に沿った留意事項を洗い出し、法人の経営組織の見直し、体制の強化を図った。引き続き29年度も取り組む。
- ・職員の意欲向上につながるキャリアアップ制度等の見直しについて協議を重ね平成30年度を目途に実施することで、次年度も取り組む。

(4) 専門委員会

① 人材育成委員会

職員の資質向上を目的として計画に沿って研修を実施した。キャリア形成訪問支援事業を利用し、リスク管理研修を実施した。研修の進め方等、参考にすることができた。また、研修の主体者だけでなく講師も研修実施後の振り返りを行うことで、次の研修のレベルアップを図るよう取り組んだが、三拠点の研修内容にレベルの差が生じている研修があることがわかり、今後の課題となった。

＜資料＞ 研修内容

開催月	定期研修	職種別研修	資格取得研修
4	法人の理念再確認・28年度事業計画・予算について・コンプライアンスについて		
5	食中毒の予防・感染症予防に関する基礎知識（感染対策委員会主催）		
6	リスク管理研修（リスク管理委員会主催） 身体拘束廃止について（委員会主催） 介護保険制度の基礎知識（係長主催）		
7	権利擁護・虐待防止研修（係長主催）個人情報保護とプライバシー保護について 接遇研修（3年未満の職員対象）	事務職員研修 1回目	介護支援専門員資格取得研修 1回目・2回目
8	救急救命講習	痰の吸引研修（特養介護職員）1回目 事務職員研修 2回目	介護支援専門員資格取得研修 3回目
9	緊急時の対応（各部署に合わせた内容）		介護支援専門員資格取得研修 4回目
10	感染性胃腸炎・インフルエンザなどの感染症予防対策について（感染対策委員会主催） ターミナルケア研修（係長主催）	栄養士研修	
11	介護保険制度の基礎知識 リスク管理研修（外部講師） 接遇研修		
12	交通安全研修（安全運転管理者） 身体拘束廃止について（委員会主催） 外部研修報告会（苦情解決能力向上研修）	介護支援専門員研修	
2	褥瘡予防研修 メンタルヘルス研修（労働衛生委員会）	相談員研修 1回目 介護職員研修（5年未満・5年以上） 痰の吸引研修（特養職員）2回目	
3	認知症ケア研修	相談員研修 2回目	

② 法人防災委員会

9月に防災業者を講師に招き、新人職員等を対象にした三拠点合同消火器訓練を実施し、初期消火活動の実技向上を図った。また、10月には土砂災害を想定した三拠点合同訓練を実施し花の里かつばから避難場所であるかつば園へ入居者の避難誘導を安全に行なうことができた。課題であるスムーズな避難と職員間の連携については、今後も訓練を重ねていき改善していきたい。

③ 入所検討委員会

入所基準に基づき年 6 回の委員会を開催し優先順位の検討を行った。上位で待機中の方の中には、申込み後 2 年以上経過している待機者について、入所の意向が変わり入所の見送りや取り下げした方が多かった。また、要介護度 2 以下の特列入所者が上位に挙がり入所した。2 年前は 300 人を超えていた入所申込待機者が、取り下げや他施設入所等により減少し、200 人前後となった。

④ サービス向上委員会

入所者（利用者）及び家族に対し満足度調査と職員の自己評価の実施分析を行い、昨年同様アクションプランに落とし込んで事業所で取り組んだ。アンケート用紙の見直しや直接用紙をご家族等へ手渡して依頼することで回収率が上がり未記入部分が少なくなる等の改善がみられたが、事業所によっては回収率が低い部署もあるため、より働きかけを行っていく。

⑤ 広報委員会

法人パンフレットの全面見直しを行い、拠点ごとにサービス内容が分かりやすいように掲載するとともに、法人独自で行っている自主事業についても載せて PR に努めた。

また、各事業所の活動状況等を定期的にホームページに掲載できるよう働きかけを行っているが、一部更新がされない事業所があり今後の課題となっている。

⑥ 納涼祭実行委員会

28 年度は雨の心配もなく晴天のなか納涼祭を開催することができた。昼の部ではご利用者が職員の神輿披露に夏祭り気分になり、夜の部の演目では山本中学校吹奏楽部がオープニングを飾り、同中学校の生徒や親の応援する姿も多く見受けられ 250 名を超える来場者となった。恒例の悠久太鼓や大抽選会等も盛り上がり、縁日や屋台も繁盛し、夏の一大行事を地域も含め楽しむことができた。

（５）職員の動向

家庭や自己都合の事由による退職があったが、専門職及び障がい者等多数の職員を採用することができた。しかし看護職員の採用は困難な状況が続いている。

社会福祉士や介護支援専門員などの資格取得について、職員の意識は高くなってきてはいるが、取得率は非常に低かった。

<資料>

① 採用者・退職者数

単位：人（実数）

雇用形態	採用者数		退職者数	
	正規・準	パート	正規・準	パート
28 年度	22	3	16	4
27 年度	15	2	13	4

② 資格保有状況 (29. 3. 31 現在)

単位：人（実数）

区分	かつぼ園	福祉センター ふそき	ケアセンター 花の里	合計
総職員数	101	45	44	190
介護福祉士	61	25	27	113
社会福祉士	4	6	1	11
看護師	5	3	1	9
准看護師	4	1	2	7
管理栄養士	1	0	2	3
介護支援専門員	17	13	5	35

(6) 地域連携等に関すること

① 花華クラブ

- ・ケアセンター花の里かつぼのガーデン管理を中心に活動を行った。28年度は雨天が多くガーデン管理が十分にできない月もあった。
- ・会員（参加者）の年齢が高齢化しており、体調不良等で休まれることが多くなった。また冬期間感染症（インフルエンザ）が発症し、念のため活動を中止したこともあり、延べ参加人数が減少した。
- ・研修旅行は長野県大町市のガーデンを見学した。アロマオイルづくりの体験も行い好評であった。遠方であるということから参加を見合わせる会員もおられた。

② レインボー健康体操

- ・積極的な研修参加により必要な単位数を計画的に取得して指導知識と技術の維持向上を図り、介護予防と地域貢献の体制を維持した。
- ・定例教室における参加増加率は26・27年度対比より減少したものの前年度比で119.7%であった。指導職員が出向する団体の参加者は新規派遣の増加もあって前年度比127.7%となった。宣伝や口コミによる効果であることもさることながら、地域住民の健康に対する意識の高さが伺える結果と言える。
- ・定例教室参加者懇親会は4回目となり、参加者間や参加者と当方職員の交流や意思疎通を図るために有効な機会としての位置づけが明確になってきている。
- ・前年度の定例教室アンケートの結果に対する改善に取り組んだ。花の里かつぼ会場での実施を週2回に増数したこともその一つであるが、新規参加が得られないことは課題である。
- ・法人ホームページ専用コーナー新設により、介護予防の取り組みを広報した。
- ・年に一度実施している体力測定は5種目から3種目に減らして行った。定例教室開催日と同日に設定したため、運動用具も設置し測定の空き時間を有効に過ごせるように工夫したが、定例の体操が行われなかったということでお帰りになった方もいた。体力測定者を増やすことについては検討を要す。
- ・緊急時に備えた個人台帳の整備は継続しているが、体調不良や急変がない状態を維持し安全に行えている。

<資料>

ケアセンター花の里かつぼ

月	実施回数		延べ参加人数		月	実施回数		延べ参加人数	
	28年度	27年度	28年度	27年度		28年度	27年度	28年度	27年度
4	4	2	27	16	10	4	2	27	15
5	4	2	31	14	11	4	2	31	13
6	4	2	29	18	12	4	2	29	14
7	4	2	35	16	1	4	2	35	18
8	3	2	26	16	2	3	2	26	16
9	4	2	32	17	3	4	2	32	15
合 計						46	24	360	188

高齢者センターふそき

月	実施回数		延べ参加人数		月	実施回数		延べ参加人数	
	28年度	27年度	28年度	27年度		28年度	27年度	28年度	27年度
4	5	4	155	97	10	4	5	92	147
5	4	5	131	124	11	4	4	97	98
6	4	4	146	104	12	4	4	98	94
7	5	5	165	129	1	4	4	79	96
8	4	4	82	93	2	4	4	104	105
9	5	4	135	112	3	5	4	132	116
合 計						52	51	1,416	1,315

近隣地域老人会等

団体名	実施回数		延べ参加人数	
	28年度	27年度	28年度	27年度
美園友美会（川崎地区）	11	9	241	244
東栄・琴平 地域の茶の間（川崎地区）	2	2	28	23
愛宕 地域の茶の間（川崎地区）	4	2	51	28
稽古町 地域の茶の間（川崎地区）	2	5	18	47
若葉会（川崎地区）	6	4	105	76
さくら会（千手地区／千歳団地）	12	12	102	117
百束茶屋（百束地区）	1	1	12	13
楽天茶屋（新組地区）	1	2	22	45
新保2丁目福祉部会（新保地区）	4	1	111	28
新保1・2丁目福祉部会（新保地区）	1	0	62	0
新保3丁目福祉部会（新保地区）	1	2	15	29
新保4丁目福祉部会（新保地区）	1	0	18	0

団体名	28年度	27年度	28年度	27年度
新保5・6丁目福祉部会（新保地区）	1	2	10	19
永田和朗会（永田公民館）	0	1	0	29
加津保楽生会（山本地区）	1	1	12	11
乙吉宮路高砂会（山本地区）	6	0	84	0
亀崎町有志サークル（山本地区）	24	21	182	205
栖吉いきいきクラブ（栖吉地区）	0	1	0	20
はつらつ広場（栖吉地区）	10	1	158	22
表町コミュニティセンター（表町地区）	2	0	33	0
ますらお会（表町地区）	2	0	19	0
合 計	92	67	1,283	956

その他

団体名	実施回数		延べ参加人数	
	28年度	27年度	28年度	27年度
レインボー花の里・ふそき教室参加者懇親会	1	1	27	28
〃 体力測定	1	1	19	15
レインボー特別教室、イベント型教室	2	1	24	35
合 計	4	3	70	78

③ 花壇イベント

秋の開催時は天候に恵まれず参加者が減少したが、多くの地域の方々から協力をいただき地域の方々との交流を図ることができた。また、今年度も地域との交流を継続するため、6月から9月までケアセンター花の里かつぼの園庭の草取りを呼び掛け、多くの方にご協力をいただいた。

<資料>

単位：人（延べ数）

	時季	参加人数	時季	参加人数	合計
28年度	春	65	秋	46	111
27年度	春	58	秋	61	119

④講師派遣（アクティビティ、介護保険講義、栄養講義等）

単位：人（延べ数）

派遣先団体名	実施回数		延べ参加人数	
	28年度	27年度	28年度	27年度
桂寿会（桂町老人会）	6	6	100	76
なかよし元気会（富曾亀コミュニティセンター）	7	7	68	83
北陸福祉保育専門学院介護福祉学科	2	1	30	30
新潟県シルバー人材センター連合会	1	1	15	20
百束茶屋（百束公民館）	1	0	27	0

派遣先団体名	28年度	27年度	28年度	27年度
楽天茶屋（新組集落センター）	1	0	16	0
ひまわりの会（高齢者センターふそき）	9	9	113	130
ふれあいサロン（山本コミュニティセンター）	0	2	0	11
新保4丁目福祉部会	0	1	0	25
稲葉シルバーハウジング	0	1	0	9
はつらつ広場（栖吉地区）	0	1	0	20
合 計	27	29	369	404

（7）その他

① 介護予防教室「お元気学校」

虚弱高齢者を対象として27年度10月から開校した介護予防を目的とする「お元気学校」について、5月より月2回実施し、15名の高齢者の参加があった。レインボー健康体操や認知症予防、長岡市の出前講座の活用等、体力の向上や生活に必要な様々なプログラムを提供し、参加者から「元気になった。」との声を多くいただいた。

② 子ども参観日

28年度は「高齢者疑似体験」を実施し、小学3年生～6年生の7名が参加した。白内障を体験するゴーグルや手袋、関節に重りをつけて、自動販売機でジュースを買う等の体験をした。その後親の働く様子を見学・体験を行い、子供からは「お母さん、お父さんは大変な仕事をしているけれど笑顔で仕事をしていることが分かった。将来は介護の仕事をしたい。」との感想があり、職員からは仕事の理解が深まったとの声が聞かれた。

2. 経営管理

社会福祉法の改正に伴う定款等の改正や、法人の組織体制について新評議員選任のための「評議員選任・解任委員会」を設置し、評議員を選任した。また、地域における公益的な活動の実践として、法人職員による地域への講師派遣や、現在実施している「レインボー健康体操」の普及活動を拡大し参加者の増員を図った。

入所（居）系施設においては、稼働率は例年を維持しているが、在宅系の短期入所、通所介護、特に認知症対応型通所介護の稼働率が大幅に低下し、全体の収益に影響を及ぼしている。

【拠点・特別養護老人ホームかつぼ園】

1. 事業運営の成果

(1) 事務課

- ・契約事務についての研修を行ったことで理解を深めることができ、内部牽制がより機能するようになり、更なる課題も明確にすることができた。
- ・業務分掌の見直しや付随して各自の月間・年間業務スケジュールの見直しを行ったことにより、業務の平準化が図られ時間外勤務が削減された。
- ・災害時の対応について研修や訓練を行い、適正な初動動作が行えるよう努めた。

(2) 施設サービス課（特別養護老人ホームかつぼ園）

- ・昨年度と比較し新規入所に日数を要したことで、空きベッド数が増え稼働率が低下した。そのため介護報酬収益はやや落ち込んだ。

① 1・2係

- ・利用者、家族と多くのコミュニケーションを図り、その方をより良く理解することに努めた。また、個別の対応について対応表を細かく見直し、利用者の望む生活や楽しみのある生活を実現するためのケアプランを立案する事が出来た。
 - ・介護職員、看護職員ともに利用者からの身体状況や生活上の心配事をゆっくりと傾聴し丁寧な対応を行なうことで、信頼関係の構築に繋がった。又、身体状況の変化が見られた時は家族へ迅速な対応を心掛けた。
 - ・看取りケアについては、寄り添うケアの実施と同時に、家族へのケアも行うよう努め、日々の報告を電話や文書にてこまめに行なった。また、終末期プランの作成についても介護・看護と連携を図りスムーズに行えた。
 - ・地域の行事や催事へ積極的に参加する事で交流を図る事が出来た。
 - ・専門職としての知識の習得の為、事業所内研修や課内学習会を実施した。
- その他、ご利用者の尊厳や接遇に関する研修を重点的に行うことで職員ひとり一人の資質の向上の強化を図った。その結果、適切なケアへの意識が高まった。

② 医務係

- ・利用者の日々の健康状態を把握し、介護職員と情報の共有を図ることができたことで医師への状態報告がスムーズに行われ、適切なケアに繋がった。
- ・利用者の体調の変化を家族に伝えた際に、家族の意思確認を行い安心して最期を迎えられるように対応することができた。医師、看護職員、介護職員の連携を図り、利用者に寄り添ったケアと家族の思いを大切に看取り介護を提供することができた。
- ・全職種が共通意識を持ちノロウイルスの感染防止に努め、発症を防ぐことが出来た。またインフルエンザ発症時も保健所の助言を受ける等早期対応を行い、集団感染を防ぐことができた。

③ 給食係

- ・利用者の生活習慣や嗜好、摂食・嚥下状況等により作成した「栄養ケア計画書」に基づき、利用者の栄養状態を維持・改善できるよう努めた。
- ・利用者の栄養状況に対応する給与栄養目標量を設定し、基準に沿った食品構成の算出、献立作成を行い、委託業者と連携して給食を実施することができた。

- ・給食業務委託となり二年が経過したが、利用者の身体状況に合わせた安心安全な食事提供を目指し、調理方法の見直しを行った。また、行事の企画や食事内容の検討等、積極的に意見交換を重ね改善に努めた。
- ・利用者のニーズや嗜好に沿った個別対応、季節感のある献立や郷土料理を取り入れ、その様子を食事日より掲載しご家族や来客者にも伝えることができた。

資料 1 <入所者の状況>

① 入退所状況

単位：人（実数）

入所前の状況						
状況	在宅	長期間 ショート	老健等 他施設	病院	法人グル ープホー ム	合計
28年度	11	5	13	2	0	31
27年度	12	5	10	2	0	29

退所の状況					
状況	在宅	施設で死亡 ※1（ ）	協力病院 入院中死亡	病院等へ入院 のため退所	合計
28年度	0	32（27）	0	0	32
27年度	0	29（21）	1	1	31

※1（ ）ターミナルケア計画に基づき、施設内で看取りを実施した数

② 年度末介護度別数

単位：人（実数）

介護 年度	介	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
28年度		1	7	21	35	36	100
27年度		1	7	26	37	29	100

③ 月別利用数

単位：人（延べ数）

28年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働 率
	人数	2,959	3,036	2,971	3,094	3,088	2,991		
	月	10	11	12	1	2	3	36,187	99.1%
人数	3,079	2,961	3,103	3,067	2,754	3,084			
27年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働 率
	人数	2,981	3,066	2,980	3,100	3,053	2,992		
	月	10	11	12	1	2	3	36,301	99.2%
	人数	3,100	2,993	3,033	3,031	2,888	3,084		

④ 介護度別利用数

単位：人（延べ数）

28年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	365	2,135	7,766	14,558	11,183	36,187	3.92
27年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	619	2,397	8,905	14,027	10,353	36,301	3.86

⑤ 日常生活動作

単位：人（実数）

生活動作尺度	区 分	28年度	27年度
移 動	独歩	2	2
	介助・介助具使用	5	8
	車椅子	93	90
食 事	自立	49	60
	見守り	0	0
	一部介助	29	24
	全介助	19	11
	経管栄養	3	5
排 泄 (日 中)	トイレ 自立	7	6
	一部介助	23	30
	全介助	3	4
	ポータブルトイレ・自立	1	1
	一部介助	1	4
	全介助	0	0
	オムツ フォーレ	63 2	55 0
入 浴	一般浴	11	10
	座浴	26	31
	特浴	63	59

⑥ 食事形態（平成29年3月31日現在）

単位：食（実数）

主食		副食	
米飯	21	普通	15
おにぎり	1	刻み	12
粥	50	小刻み	10
粥ミキサー	24	超刻み	30
パン	1	ミキサー	30
経管栄養	3		

資料2 <余暇活動等>

① 余暇活動の実績

単位：人

月	余暇活動内容	参加人数
4	花見ドライブ	4
	ふれあいタイム	14
5	すこやかともしび祭作品作り	3
	おはぎ作り	11
	散歩	84
	映写会	25
6	外出ドライブ	4
	すこやかともしび祭作品作り	9
7	映写会	31
8	盆供養会	30
	すいか割り大会	22
	すこやかともしび祭作品作り	6
9	すこやかともしび祭作品作り	3
	おはぎ作り	16
10	大運動会	27
	散歩	3
11	外出ドライブ	2
	映写会	24
12	クリスマスツリー飾り付け	4
1	新年会	59
	絵馬づくり	19
	映写会	25
	カラオケ	41
2	節分	41
	映写会	21
3	春の訪れを感じる会	37
	彼岸供養会	30
	ふれあいタイム	6
合 計		601

② クラブ活動の実績

クラブ名	実施回数	延べ参加人数
調理クラブ	5	45
書道クラブ	10	77
歌謡クラブ	19	493
生け花クラブ	10	112
合 計	44	727

③ 特養花華クラブ参加状況（家族協力会協賛）

単位：人（延べ数）

月	実施回数	参加人数		内 容
		入所者	家族	
6	1	12	18	夏のプランター作り
7	1	12	18	風鈴短冊作り
8	1	12	7	モイストポプリ
9	1	12	3	野沢菜の種まき
10	1	12	13	秋のプランター作り
11	1	12	5	花華カレンダー作り
12	1	12	3	シクラメンの植え付け
合計	7回	84	67	※4・5・1・2・3月は実施なし

(3) 施設サービス課（短期入所事業かつぼ園）

- ・昨年度に引き続き、緊急時の連絡先の定期的な確認を実施・更新し活用した。
- ・年間計画に沿って実施した野菜作りの他、収穫した野菜を使った調理や季節を感じることができるようなお菓子作りを行なった。また、おはぎ作りや笹だんご作りでは地域のボランティアの協力もあり、好評だった。
- ・サービス評価アンケートにおけるご利用者からの「退屈だ」という意見を受け、新たに毎日の日課としてゲーム等のアクティビティ活動を実施し、ご利用者から好評をいただいた。
- ・入退所の自宅送迎時や、サービス利用時に家族及び利用者と密にコミュニケーションを図る事により、ニーズの的確な把握に努めそれをサービス提供に反映することができた。
- ・利用者の定着の促進と稼働率向上のため、利用者の状態及び空室状況等についてPR活動することで、介護支援専門員等関係機関に情報提供を行い稼働率の向上を目指したが目標としていた数字は達成できなかった。

資料＜利用者の状況＞

① 市別利用数

単位：人・日（延べ数）

年度	長岡市		見附市		合 計	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数
28年度	1,226	6,994	94	633	1,320	7,627
27年度	1,279	7,600	54	275	1,333	7,875

② 月別利用数（ ）内は予防短期入所生活介護利用数

単位：人（延べ数）

28年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率		
	人数	636 (11)	604 (11)	623 (11)	700 (10)	696 (10)	647 (10)			7,627 (109)	87.1%
	月	10	11	12	1	2	3				
	人数	709 (10)	621 (13)	605 (8)	635 (9)	592 (3)	559 (3)				

27年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	645 (8)	668 (8)	662 (12)	683 (13)	668 (10)	547 (9)	7,746 (129)	89.6%
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	676 (11)	656 (10)	651 (9)	648 (9)	591 (13)	651 (17)		

③ 介護度別利用数

単位：人（延べ数）

28年度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	109	502	1,282	2,178	1,768	1,788	7,627	3.4
27年度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	129	521	902	1,734	2,582	2,007	7,875	3.6

(4) 在宅サービス課（デイサービスセンターかつぼ園）

- ・ 居宅介護支援事業所に月1回以上訪問し実績報告や行事等の案内も含め事業所PRを行った。新規利用者の依頼が昨年度より多くあり、目標稼働率は達成することができた。しかし、他界者・施設入所者が多く、実人数の増加には繋がらなかった。
- ・ 認知症ケア計画・個別機能訓練計画の作成により加算算定に繋げることができた。
- ・ 事業所内研修を計画的に行い、職員の資質向上に努めた。
- ・ 利用者個々の身体状態に合わせた通所介護サービス計画書を作成し、個々のニーズに沿った援助に努めた。
- ・ 居宅介護支援事業所や関係機関と情報を共有しながら連携を図り、利用者家安心して在宅生活を継続できるよう支援に努めた。

資料<利用者の状況>

① 登録者数

単位：人（実数）

年度	区分	長岡市	見附市	合計
	28年度	112	7	119
	27年度	85	10	95

② 利用者数

単位：人（延べ数）

年度	区分	長岡市	見附市	合計	稼働日数	1日あたり平均人数
	28年度	7,641	325	7,966	364	21.9
	27年度	7,333	348	7,681	365	21.0

③ 月別利用数

() 内は予防通所介護利用数

単位：人（延べ数）

28年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	543 (76)	571 (77)	559 (78)	571 (82)	571 (86)	583 (85)	6,989 (977)	87.6%

28 年 度	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	591 (92)	608 (88)	622 (76)	589 (85)	572 (71)	609 (81)		
27 年 度	月	4	5	6	7	8	9	合計 6,903 (778)	稼働率 84.2%
	人数	574 (66)	572 (72)	552 (68)	579 (63)	623 (55)	628 (67)		
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	614 (63)	549 (63)	579 (66)	536 (55)	535 (71)	562 (69)		

④ 介護度別利用者数

単位：人(延べ数)

28 年 度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	977	1,577	2,158	1,996	399	859	7,966	2.54
27 年 度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	768	1,359	2,290	1,812	563	879	7,681	2.61

⑤ 行事計画

単位：人(延べ数)

月	行事計画	参加人数
4	お花見ドライブ(福島江)	51
5	ドライブ(栃尾・秋葉公園)	53
6	ドライブ(見附イングリッシュガーデン)	34
	買物ツアー	11
7	買物ツアー	7
8	納涼祭	31
9	すこやかともしび	5
	敬老会	69
10	ドライブ(ハイブ長岡)	32
	ハロウィン	23
	買物ツアー	4
	収穫祭	44
11	ドライブ(長岡市内周遊ドライブ)	45
12	鏡餅作り	18
	クリスマス会	66
1	新年餅つき大会(中止)	0
2	節分	44
合計		537

(5) 在宅サービス課（在宅介護支援センターかつぼ園）

- ・利用者、家族の生活に視点をおき丁寧なアセスメントを行い、必要に応じて課題整理総括表を活用しながら課題把握を行い、サービス担当者会議等で多職種と協働し居宅サービス計画書を作成した。
- ・医療機関やサービス事業所と連携し看取りの支援が行なえた。また病院の医療相談室等と連携し入退院時の支援、新規退院ケースの受け入れも行うことができた。
- ・事業所内研修、法人内の介護支援専門員研修、個々の目標に合わせた外部研修に参加し、より専門的知識の向上に努めた。
- ・介護保険制度や介護保険外サービス及び地域の社会資源等についても把握しパンフレットを配布し利用者、家族に情報を提供することができた。

資料＜利用者の状況＞

① 居宅サービス計画作成数

単位：件（延べ数）

28年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	131	128	130	133	127	135	1,547
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	133	126	130	125	125	124	
27年度	月	4	5	6	7	8	9	
	件数	125	126	125	123	123	126	1,527
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	128	128	131	130	132	130	

② 介護予防支援受託件数

単位：件（延べ数）

28年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	20	21	20	20	20	20	248
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	22	22	21	22	20	20	
27年度	月	4	5	6	7	8	9	
	件数	13	17	20	18	18	17	211
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	19	17	17	17	20	18	

③ 訪問調査件数

28年度	204件	27年度	208件
------	------	------	------

2. ボランティア・実習生等の受け入れ

① ボランティアの受け入れ

単位：人(延べ数)

区 分			28年度	27年度
かつぼ園	定期	個人ボランティア	93	92
		団体(グループ)ボランティア	333	310
	随時	個人ボランティア	6	17
		団体(グループ)ボランティア	61	85
		保育園・学校等	96	133
	合 計			589

② 施設及び居宅実習・体験実習等の受け入れ

単位：人(延べ数)

受入事業所	区 分	28年度		27年度	
		実人員	延日数	実人員	延日数
特養かつぼ園	北陸福祉保育専門学院 (介護福祉士資格取得)	5	131	7	203
	北陸食育フードカレッジ(職業実践実習)	8	16	8	16
	長岡こども・医療・介護専門学校	1	59	3	33
	国際こども・福祉カレッジ	0	0	1	17
	悠久山栄養調理専門学校 (栄養士資格取得)	2	20	2	20
	障がい者職場実習	2	28	2	16
	補導委託	1	2	0	0
	三幸福祉カレッジ	0	0	1	3
デイサービス センター かつぼ園	北陸福祉保育専門学院(教員免許に係る介護等体験実習)	2	10	3	15
	北陸福祉保育専門学院 (介護福祉士資格取得)	10	20	11	18
	北陸福祉保育専門学校(職業実践実習)	8	8	15	15
	国際こども・福祉カレッジ	0	0	1	3
	障がい者職場実習	1	8	1	2
支援センター かつぼ園	新潟県厚生連中央看護専門学校 在宅看護実習	18	36	0	0
デイ・特養	福祉体験学習 中学校(山本・東北・堤岡)	7	15	0	0
合 計		65	353	73	361

3. 拠点委員会

① リスク管理委員会

事故を未然に防ぐために職員の意識を高め、サービスの標準化、ケアの質の向上、PDCAサイクルの必要性を再確認し予防の強化に取り組んだ。そのため研修では事業所毎に多発している事例について検討する研修を行なった。他に外部講師を招いてKYT訓練を含む研修を実施した。しかし、効果は薄く事故を未然に防いだインシデントの報告が少なかったことから、次年度は気付きによる事故防止の視点で研修を実施したい。

② 食事サービス委員会

嗜好調査やいきいき会を通じて、ご利用者から味付けや食事内容についての意見を集め、委託業者と連絡調整を図り、食事を楽しんでいただけるよう努めた。満足感のあるおいしい食事提供を目指し、今後はハード面の整備や介護食の知識向上が必要。

③ 防災委員会

地震想定訓練で、建物が崩壊の危険があることを想定し入居者の避難誘導を行なう訓練を取り入れた。初めての取り組みであったため、各部署の流れを作成し、イメージを固めてから実施した事で役割を理解する事ができた。

その他、年間訓練内容は計画的に実施出来た。

④ 感染対策委員会

食中毒感染予防及び発生時の対応について年2回の定期研修を実施した。ノロウイルスの感染はなかったが発症に備えて、吐物処理の方法について全員が完璧な処理が行えるように全体研修の他、個別指導も実施した。インフルエンザ発症は職員4人、入所者3人が罹患したが、医師との連携・予防対策を厳重に行なうことで感染拡大を防ぐことができた。面会者の制限、手洗い・マスク着用等、感染予防の働きかけを徹底して継続した。

⑤ 労働衛生管理委員会

職員の定期健康診断を例年通り実施し、結果を産業医から確認いただき生活習慣の見直しが必要との助言や指導を受けた。月1回の委員会では職員の健康状況や労働環境等について確認し改善方法等を協議した。ストレスチェックについては定期健康診断と同時に実施した。面談希望者はいなかったが、ストレス対処法について研修を実施した。

⑥ 身体拘束廃止虐待防止委員会

28年度は虐待防止について取り組みを強化するため委員会の名称を変更した。虐待につながる不適切なケアの防止について、各部署毎の改善の取り組み報告を毎月委員会で行った。また、虐待防止についての外部研修に参加し、それを基に拠点内研修を実施し意識の向上を図った。

⑦ 園芸委員会

施設玄関前の花壇整備を実践した。日常的な管理について委員会が計画を立て、各部署が協力して水やり等を実施し、入所者や来園者から「花がきれい」という言葉を多数いただいた。次年度も協力して行っていく。

⑧ 痰の吸引等安全対策委員会

医師より痰の吸引の指示を受けているご利用者数はいないため、実際に現場で痰の吸引を介護職員が実施することはなかったが、例年同様毎月の物品の点検管理を実施する

とともに、職員の実技研修は2回行った。

4. 苦情（意見）内容

特別養護老人ホームかつぼ園	①内容	申出人 利用者の長男の妻 体調を崩し転倒転落の危険が高いことから、体調が戻るまで畳に布団を敷き対応していた。ご家族への報告がなかったことから、「連絡が欲しかった」との言葉があった。
	想定原因と処理	体調面の連絡は頻回にご家族へ連絡していたが、対応を変更したことについて他の家族が面会に来られていたため身元引受人に対して直接連絡していなかった。
	改善策（結果）	ご家族へ謝罪し、経緯を説明し納得いただいた。会議で検討を行い、身元引受人への連絡を必ず入れるよう全職員に対して改めて周知した。
短期入所事業かつぼ園	①内容	申出人 本人 入浴時に職員から頭を洗ってもらえず、身体を洗うのも手伝ってくれなかった。ちゃんと洗うように注意して欲しい。
	想定原因と処理	ご本人には認知症状の進行や被害的な言動が日頃から見受けられた。その時関わった職員は洗髪、洗身の介助を手順通り行ったが本人がその事実を忘れてしまっていた。
	改善策（結果）	本人には対応した職員に注意し、今後気をつけることを伝え、納得を得た。 また、関わる際は声かけを密に行い、より印象に残る介助に努める。不信そうな様子が伺えたら、お話を良く聞き、不安や不信を取り除くように対応する。中介助中の様子など、些細なことでもショート of 職員に伝える。
	②内容	申出人 長男妻 迎え時の自宅の階段昇降について、いつもは車椅子で行っているが、その時は両脇を抱え歩いて降りていた。本人も怖がっていたし、心配だった。また、職員が咳をしているのにマスクをしていなかった。風邪がうつるんじゃないかと心配になった。
想定原因と処理	入所担当がマニュアルを確認したが、「玄関＝階段」という思い込みで対応してしまった。マスクを使用してご家族と話したら、何度か聞き返されたため聞こえづらいのではないかと思い、マスクを外して話をしてしまった。苦情を受けた職員がすぐに謝罪をし、後日管理者より改めて謝罪し改善策を報告し納得される。	

	改善策 (結果)	個人マニュアルの送迎方法を書面で確認すると共に、職員へも口頭で確認する。また、送迎方法を書いたメモを携帯し、ご自宅へ着く前に介助員と共に確認し、送迎に出る。また、マニュアルには誰が見てもわかる書き方をする。マスクをしたままご家族とお話する。
デイサービスセンター かつぼ園	①内容	申出者 利用者の長男の妻 利用者を自宅へ送った際ご家族が不在であったが、後日ケアマネを通し自室まで送ってほしかったとの話があった。
	想定原因 と処理	本人が玄関で良いと話したことから、自室までお連れしなかった。本人の状態から考えると自室までお連れすることが適切であった。
	改善策 (結果)	ご家族へ謝罪し、今後は自室まで送迎する件を伝え納得いただいた。体調面等の情報共有をさらにケアマネと図っていくことを確認した。
	②内容	申出者 利用者の妻 朝の迎えの時間が希望していた時間よりも早かった。またその際に書類の説明をされたが、何も頭に入ってこなかった。献立表がわかりにくい。
	想定原因 と処理	担当がご家族に対して自宅での状態の確認をする事を伝えておらず、また時間も希望されていたより早く着いてしまった
	改善策	ご家族へ謝罪し、書類の説明や状況の聞き取り等は後日改めて訪問させてもらうこと、送迎も希望通りに行う事を説明し了解された。会議を持ち書類等の説明などについては事前に連絡し日程調整を行って実施することを確認した。また栄養士と相談し見やすい献立表に変更した。
	③内容	申出者 匿名 (電話) わき道から強引に左折してきた。事故になったら大変である。運転教育をしてほしい。
	想定原因 と処理	運転者に確認したところ、左折しても十分余裕があると判断し左折したが、相手には強引だったと受け取られたのではないかということだった。
改善策 (結果)	自分の運転を過信せず、安全を優先に運転業務を行うことを職員全員に周知した。	

デイサービスセンターかつぼ園	④内容	申出者 利用者の妻 デイに持たせた内服薬を飲んでいなかった。
	想定原因と 処理	内服薬はないという職員の思いこみと確認ミスがあった。
	改善策 (結果)	ご家族へは管理者から謝罪した。飲み忘れを予防するチェック体制を整え、さらに内服薬については看護職員が本人に手渡しを行い飲むまで確認することとした。
	⑤内容	申出者 利用者 職員から誰が洗濯をしているのかなど聞かれた。嫌な気分だった。
	想定原因と 処理	職員が何気なく話をした言葉であったが、本人は非常に気にする方であり、プライバシーに配慮がない言動であった。
	改善策 (結果)	ご本人並びにご家族へ謝罪し、今後生活面で助言や相談したいことは家族へ連絡することとし、ご家族からも了解をいただいた。職員会議で職員の言動などについて注意喚起を行った。
	⑥内容	申出人 利用者の夫 祝日に利用日の確認の電話をしたが、電話に出た人からケアマネ（法人外）に聞いてくれと言われた。ケアマネが休みだから連絡したのだがどうなっているのか。
	想定原因と 処理	祝日であったため不慣れな職員が対応したこと、電話の内容が「予定表をなくしたがもらいたい」という主旨であったためケアマネに連絡してほしいと伝え、利用されているサービスの確認を怠った。
	改善策 (結果)	ご家族へ謝罪し、改めて予定表をだしてもらおうようケアマネに連絡を取った。また土日及び祝日に対応する職員に対して電話対応の周知を行った。

【拠点・福祉センターふそき】

1. 事業運営の成果

(1) 高齢者センターふそき

- ・日常的な自主点検と館内清掃・消毒により安全確保と清潔かつ衛生的な管理に努め、専門業者に委託する施設設備保守は適切な実施をチェックした。老朽化に伴う不具合は、長岡市への協議と修繕執行により積極的に解消した。
- ・来館者総数は若干ではあるが増加し前年度比で 101.8%となった。映写会の参加数は大幅に増加した。継続して催し物の実施方法を工夫し集客を図ることが今後の課題である。
- ・レインボー健康体操教室の実施は来館者数の維持・増加につながっている。
- ・近隣幼稚園と連携し、園児の大作を展示する場を提供した。工夫して正面ホールに展示・装飾することでセンター内に明るさをもたらすことにもつながり効果的であった。
- ・前年度同様に実施した利用者アンケートは結果を公表するにとどまり、分析及び改善検討が不十分だった。
- ・広報や映写会の内容を見直したことにより周辺住民の新規利用が増加した。
- ・人員の半数が新採用であったが、業務全般を滞りなく行うことができた。
- ・障がい者の雇用に向けて3か月のトライアル雇用により導入の可否を検討した。

資料 <利用者の状況>

① 利用者数

単位：人(延べ数)

項目	年度	総数	前年度比
専用室利用者	28	19,759	100.1%
	27	19,740	
個人入館者	28	17,819	103.8%
	27	17,165	
合計(総入館者)	28	37,578	101.8%
	27	36,905	

② 行事等の状況

・カラオケ、誕生会

単位：人(延べ数)

月	内容	参加人数	
		28年度	27年度
4	カラオケ大会、誕生会	95	60
5	カラオケ大会(2回)、誕生会	171	77
6	カラオケ大会、誕生会	96	90
7	カラオケ大会、誕生会	91	93
8	カラオケ大会、誕生会	95	96
9	カラオケ大会、誕生会	95	92
10	カラオケ大会、誕生会	85	136

月	内容	28年度	27年度
11	カラオケ大会、誕生会	99	95
12	カラオケ大会、誕生会	98	88
1	カラオケ大会、誕生会、神楽舞	136	125
2	カラオケ大会(2回)、誕生会	186	203
3	カラオケ大会、誕生会	107	107
合 計		1,354	1,262

・映写会

単位：人(延べ数)

月	内 容	参加人数	
		28年度	27年度
4	今を生きる、ライアーライアー	12	13
5	男はつらいよ、三丁目の夕日	12	7
6	Shall we dance、船を編む	9	12
7	歩いても歩いても、ハチ公物語	19	11
8	おにいちゃんの花火、愛を積む人	26	10
9	そして父になる、母と暮らせば	21	24
10	マエストロ、家族はつらいよ	17	16
11	ふしぎな岬の物語、人生の約束	22	17
12	先生と迷い猫、起終点駅	23	26
1	ぶどうのなみだ、縫い裁つ人	17	2
2	オカンの嫁入り、殿利息でござる	35	8
3	奇跡のリンゴ、海よりもまた深く	29	30
		242	176

・その他

単位：人(延べ数)

月	内 容	参加人数	
		28年度	27年度
10	折り紙教室	0	10
	タバコと肺の健康講座	0	7
11	はかま紙教室	11	13
1	書初め	0	4
2	豆まき	27	31
3	長岡技術大学吹奏楽部演奏	0	36
合 計		38	101

※他、11月～12月・1階ロビーに希望が丘幼稚園園児の作品(昆虫数種の大作)を展示。

(2) 長岡市デイサービスセンターふそき

- ・一般型は、居宅介護支援事業所へ直接訪問する機会を複数回としてケアマネジャーとの信頼関係を築くことで利用者を確保することができ、目標稼働率を超える結果を得たが、認知症対応型は実利用者数が著しく減少し稼働率が低下し収入面に大きく影響した。
- ・一般型の要支援者に体力測定を実施し、数値化して示すことで利用者自身が身体能力を把握でき、生活意欲を引き出すことができた。
- ・居宅介護支援事業所への実績報告時に、利用者の利用状況報告と空き情報提供を行うことに併せて「かわら版」や「アクティビティ予定表」の配布によるPRを行った。利用ケースがない事業所に対しても同様に行ったことで新規ケースの獲得につながった。
- ・地域ケア会議への参加などにより、地域の関係機関との連携に努めた。
- ・認知症対応型における個別機能訓練は、日常生活動作を応用する内容を提供し、在宅生活が継続できるよう務め評価した。
- ・要望に応じて園芸・創作活動・外出支援等のアクティビティを実施した。
- ・自主事業として地域老人会等に向けて計画的且つ継続的に職員を派遣し、要望に沿って派遣先団体の活動の活性化と健康維持増進を支援した。
- ・学習会により介護技術等の質の向上を図った。また、新人職員の育成はマニュアルを見直し、継続的な育成のための研修体制を整え取り組んだ。

資料<利用者の状況>

① 登録者数 単位：人（実数）

年度	長岡市		合計
	一般型	認知症型	
28	131	32	163
27	121	29	150

② 利用者数 単位：人（延べ数）

年度	長岡市		合計	稼働日数	1日あたり 平均人数
	一般型	認知症型			
28	10,109	2,730	12,839	365	35.1
27	10,242	3,447	13,689	366	37.4

③ 月別利用数 ()内は予防通所介護利用数 単位：人(延べ数)

年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	28	一般型	695 (142)	717 (140)	687 (142)	699 (152)	729 (142)		
	認知症型	247 (0)	256 (0)	239 (0)	225 (0)	219 (0)	229 (0)		

28年度	月	10	11	12	1	2	3		
	一般型	746 (137)	724 (132)	735 (128)	685 (119)	651 (109)	721 (130)		
	認知症型	221 (0)	238 (0)	223 (0)	204 (0)	202 (0)	227 (0)		
27年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	一般型	707 (131)	729 (159)	730 (128)	731 (131)	712 (131)	696 (152)	11,903 (1,786)	89.0%
	認知症型	300 (0)	314 (0)	315 (0)	317 (0)	288 (0)	272 (0)		
	月	10	11	12	1	2	3		
	一般型	704 (160)	703 (158)	709 (171)	666 (159)	653 (158)	716 (148)		
	認知症型	298 (0)	286 (0)	292 (0)	249 (0)	259 (0)	257 (0)		

④ 介護度別利用数

単位：人（延べ数）

28年度	介護度	要支援 1	要支援 2	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	一般型	409	1,205	2,360	3,521	1,149	1,059	406	12,839	2.4
認知症型	0	0	180	1,012	763	334	441			
27年度	介護度	要支援 1	要支援 2	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	一般型	383	1,403	2,445	3,395	1,278	1,024	314	13,689	2.3
	認知症型	0	0	643	1,500	839	371	94		

⑤ 行事等の状況

単位：人（延べ数）

月	行事内容	参加人数	
		28年度	27年度
4	お花見ドライブ	95	36
5	菖蒲湯	288	266
	外出ドライブ	3	—
6	外出ドライブ	—	79

月	行事内容	28年度	27年度
7	ふそき夏まつり	106	115
9	長寿を祝う会	73	75
	すこやかともしびまつり見学	5	5
10	買い物外出	115	83
	甘味・外出ドライブ	9	—
	コミュニティふそきまつり見学	6	5
11	山本コミュニティ芸能発表会見学	6	6
12	クリスマス会	64	112
1	新年会	70	74
2	節分	70	80
3	春を迎える会	67	250
合 計		977人	1,186人

(3) 長岡市地域型介護予防デイサービス「ふそき元気塾」(長岡市委託事業)

- ・「運動機能向上プログラム」「口腔機能向上プログラム」「物忘れ予防プログラム」に沿って事業を実施し、新しい事にチャレンジできるよう支援した。また、介護予防自主事業への参加につながるよう働きかけ、生きがいのある生活を支援することに努めた。

資料<利用者の状況>

① 利用者数

単位：人（延べ数）

28年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	人数	105	108	111	131	109	115	1,306
	月	10	11	12	1	2	3	
	人数	104	124	107	97	100	95	
27年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	人数	103	88	119	118	98	101	1,314
	月	10	11	12	1	2	3	
	人数	118	110	123	98	110	128	

(4) 介護プランセンターふそき

- ・毎週1回の居宅会議と学習会において利用者の状態把握やケース検討を行い、より良い支援と担当不在時でも適切な対応が行えるように努めた。
- ・本人が望む生活の実現に向けて、担当者会議等において多職種との連携を強化することに努めた。
- ・職員個々の目標や求める資質に合わせて外部研修に参加し、専門的知識の習得と向上を図った。
- ・地域包括支援センターをはじめ急性期病院の医療相談室等と連携し、退院ケースの受け入れを円滑に行った。

資料＜利用者の状況＞

① 居宅サービス計画作成数

単位：件（延べ数）

28年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	128	125	128	132	131	128	1,570
月	10	11	12	1	2	3		
件数	136	137	132	132	130	131		
27年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	135	132	135	131	134	127	1,551
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	122	129	127	130	124	125	

② 介護予防支援受託件数

単位：件（延べ数）

28年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	18	15	16	18	17	16	184
月	10	11	12	1	2	3		
件数	14	14	14	11	16	15		
27年度	月	4	5	6	7	8	9	合計
	件数	17	16	18	16	16	19	212
	月	10	11	12	1	2	3	
	件数	19	21	18	18	17	17	

③ 認定調査件数

28年度	202件	27年度	177件
------	------	------	------

（5）長岡市地域包括支援センターふそき（長岡市委託事業）

- ・関係機関との連携と地域の単身世帯・高齢者世帯を中心にした戸別訪問により、心身の状況及びその家族状況等の実態を把握するとともに介護ニーズ等を調査し台帳を整備した。（台帳整備数769件）
- ・一日当たり、包括的支援業務9名・介護予防支援業務2名の相談を受けた。
- ・地域包括的支援を担う職員としての資質を高めるため積極的に研修に参加した。
（参加研修22回・参加述べ人数25名）
- ・地域包括ケア会議（圏域会議）を開催し、地域の課題を行政・地域住民と共に検討した。
- ・地域の福祉関係機関と述べ873回連携し、会議等への参加や適切に助言することに努めた。

資料＜利用者の状況＞

① 相談業務の状況

・相談人数

(単位:件)

年度	電話	来所	訪問	その他	合計	実態把握 年間実件数
28	1,847	392	1,024	78	3,341	769
27	1,525	376	1,381	61	3,343	1,067

・相談経路

(単位:件)

年度	本人	継続	家族	民生委員	福祉機関	医療機関	地域機関	現況調査	行政機関	その他	合計
28	191	599	287	44	72	51	9	252	23	43	1,571
27	253	630	255	59	73	39	18	457	35	63	1,882

・相談内容

(単位:件)

相談内容		件数		
		28年度	27年度	
介護保険	認定関係	367	379	
	サービスの紹介	203	200	
	その他	426	423	
小 計		996	1,002	
介護保険外	介護方法や介護の悩み	91	53	
	医療・疾病関係	109	116	
	高齢者の介護予防	61	117	
	配食サービス	1	0	
	外出支援サービス	47	26	
	生活支援サービス	36	30	
	福祉機器	28	31	
	住宅の増改築	25	29	
	その他サービスの取次ぎ	80	72	
	虐待防止	2	1	
	権利擁護・成年後見	0	20	
	認知症・物忘れ	146	107	
その他	557	863		
小 計		1,183	1,465	
ケアマネ支援	ケアマネジメント	アセスメント	6	5
		ケアプラン	1	3
		サービス調整	2	4
		モニタリング	0	1
		担当者会議	0	0

相談内容		28年度	27年度
ケアマネ支援	社会資源紹介	4	3
	医療との連携	4	4
	対人援助技術	2	2
	制度の説明	2	7
	個人の悩み	3	2
	その他	9	6
小 計		33	37
支援内容 (延べ件数)	情報収集	4	2
	内容整理・問題の明確化	17	4
	助言	24	32
	同行訪問	5	1
	会議	2	0
	経過確認	22	10
	その他	8	8
小 計		82	57
合 計		2,294	2,561

②介護予防支援実施人数（年間実件数）

年度	直営	委託	合計
28	55	209	264
27	67	201	268

③年間給付管理件数

年度	直営	委託	合計
28	465	1,656	2,121
27	590	1,653	2,243

④介護予防事業受付件数（実件数）

項目	28年度	27年度
介護予防事業参加実人数	83	81

⑤虐待対応件数

項目	28年度	27年度
虐待支援計画作成件数	6	6

2. ボランティア・実習生の受け入れ状況

(ボランティアの受け入れ)

単位：人(延べ数)

区 分			28年度	27年度
長岡市デイサービスセンターふそき	定期	個人ボランティア	100	235
		団体(グループ)ボランティア	116	145
	随時	個人ボランティア	25	19
		団体(グループ)ボランティア	59	44
		保育園・学校等	193	56
	合 計			493

(実習生の受け入れ)

単位：人(延べ数)

受入事業所	区 分	28年度		27年度	
		実人員	延日数	実人員	延日数
長岡市デイサービスセンターふそき	北陸福祉保育専門学院 (小学校教諭普通免許)	3	15	4	20
	北陸福祉保育専門学院 (企業との実践実習)	0	0	15	15
	新潟県社会福祉協議会 (介護等体験)	3	15	2	10
	東北福祉大学 (介護体験実習)	0	0	1	3
	長岡こども福祉カレッジ (レクリエーション実習)	20	10	9	18
	新潟県厚生連中央看護専門学校 在宅看護実習	32	64	0	0
介護プランセンターふそき	新潟県厚生連中央看護専門学校 在宅看護実習	16	32	32	64
地域包括支援センターふそき	新潟県厚生連中央看護専門学校 在宅看護実習	16	32	16	32
合 計		90	168	79	162

3. 拠点委員会

①感染対策委員会

感染症まん延防止を図り、コンタクトポイント消毒状況の年2回評価や実際に活かして分かりやすい研修にするために工夫して取り組んだ。事業所単位の日常的消毒もあり、感染対策の意識強化とまん延防止に成果を出した。また、デイ利用者の感染については家族等との連携や情報収集に努め、感染の事実やその恐れがある際は適確な判断と対応により通常のサービス提供体制を維持した。

②労働衛生管理委員会

法人全体で行う健康診断・インフルエンザ予防接種はもとより、ストレスチェック・腰痛予防に拠点独自で取り組み、職員の健康の保持増進を図った。ストレスチェックは職員が受講した研修内容を用い解消法までを全員で共有した。自身の現状把握と自己ケアの意識を強化できた。

③リスク管理委員会

半期ごとにヒヤリハット発生状況を分析し、発生時ごとの改善策に併せて危険予測と事故防止に反映させた。マニュアルの位置づけが曖昧なことや業務遂行が先行するあまり危険予測意識が希薄であること等が要因となることが多いため、全体的に意識を高めるための取り組みを検討することが課題となっている。

④身体拘束虐待廃止委員会

身体拘束実施による弊害と虐待防止について理解を深めるべく研修を企画・実施した。また医師の指示を受け、実際に1名のご利用者が身体拘束対象者となったことから、改めて様式の見直しや手順等について見直し、マニュアルに反映させ周知した。虐待についても送迎時の家族の様子、利用者の心身状態を観察することで早期発見できた。引き続き職員の意識が薄れることのないように啓発活動に努めたい。

4. 苦情（意見）内容

デイサービスセンターふそき	①内容	申出人：地域住民 夕方送迎時ワゴン車がハイビーム走行していたため、対向で停車していた申出人がパッシングやクラクションを鳴らして知らせたが、当方運転職員が自身に対する行為と思わずそのまま運転を続けてしまった。
	想定原因と処理	夕方の時間帯に山際を走行する際にハイビームにしていたことを忘れてしまっていたため、申出人の行為が自身に対するものであると認識できなかった。同乗職員との申し送り等の会話に集中してしまい、運転に集中しているとは言い難い状況であり、申出人がふそきの駐車場まで追走して来られてお叱りと注意を受けて初めて気づいた。 当方の不注意をお詫びし、今後改めることを説明した。
	改善策（結果）	道路交通法に基づき適切なハイビーム走行により、対向車や歩行者に配慮し安全を確保することを申し合わせた。同乗者も運転操作をサポートする責務があることを再教育し、マニュアルに組み込むこととした。

地域包括支援センターふそき	①内容	<p>申出人：利用者家族</p> <p>担当のケアマネジャーが教えてもない利用者の情報を知っていた。利用しているヘルパーから伝わったのであるとすれば個人情報の流出なのではないかと興奮気味に申し立てを受けた。</p>
	想定原因と処理	<p>担当ケアマネジャーが当方に勤務しているものと勘違いしての申し入れであったので事実確認をしたところ、日頃から興奮気味に一方的に話される方なので、一つ一つ整理をしながら対応することを心がけているケースであるということ把握した。今回のことについて担当ケアマネジャーが直接連絡をとったところ、話が別の要件に替わっていたとのことであった。</p>
	改善策(結果)	<p>当方と担当ケアマネジャー間での情報共有と連携を強化することを申し合わせた。</p>
	②内容	<p>申出人：利用者家族</p> <p>住所・年齢・相談内容を話して相談日時の調整をし、相談対象者の名前や病名を伝えたのに、本人が64歳であるため相談にのれないと言われて他相談センターを紹介された。個人情報を聞いてから断るのはおかしい。</p>
	想定原因と処理	<p>電話をくださった申出人が65歳以上だったことで相談日程の調整まで行ってしまったが、事業所内で検討する中で、対象者が64歳であることから障害者支援センターに繋ぐことになるので、始めの段階から繋いだほうがいいのかということになり、障害者支援センターを紹介した。</p>
	改善策(結果)	<p>対象者が65歳未満の場合、介護保険の特定疾患以外はすぐ他の相談センターへ繋ぐことを再確認し申し合わせた。</p>

【ケアセンター花の里かつぼ】

(1) 特別養護老人ホーム花の里かつぼ

- ・今年度は、入退院が多く稼働率が低下した。そうした中でも行事や余暇の充実、ターミナルケアの充実を図ることができた。

① 介護

- ・ユニットで炊飯、盛り付け、味噌汁作りを行ない、家庭的な雰囲気の中で食事を提供し楽しみを増やすことができた。
- ・施設介護サービス計画に基づき、日常生活の支援及び個別に外出や外食、季節に応じた余暇活動・行事（花見、カラオケ、長岡花火見学、合同花火大会・芋煮会・クリスマス会七夕会、敬老会、新年会）を行ない入居者やご家族との信頼関係を深めることができた。
- ・法人内及び外部研修を通じ職員のスキルアップおよび意識向上を図ることができた。しかし参加できない職員の伝達研修が確実に実施出来なかったことが課題となった。
- ・居室の設えについてご家族と連携を図り安心して過ごせる環境作りを行うことができた。

② 医務

- ・6月から歯科衛生実地指導が導入され口腔ケアの充実に努め、入居者の健康増進を図ることができた。
- ・医師の指示・連携のもと、入居者の健康管理に努め疾病の早期発見、治療につなげることができた。
- ・他職種やご家族と連携を図り安心して最期を迎えられるよう入居者に寄り添った看取り介護に努めた。
- ・感染予防対策の実施及び周知の徹底を行なっていたが施設内で入居者1名がインフルエンザに感染した。その後の迅速な対応により蔓延防止ができた。
- ・入居者の嚥下機能維持向上及び身体機能維持向上を図るため、定期的に口腔体操、及び体操を行い、体を動かす機会を増やし活気のある生活につなげることができた。一方で、活動性の少ない入居者に対してアプローチに課題を残した。

③ 給食

- ・毎月開催する茶話会や日々の関わりの中で、入居者から食事についての意見や要望の聞き取りを行なったうえ献立に反映させ入居者の食事満足度向上につなげることができた。
- ・野菜作りやそば打ち実演など入居者と共に日頃の食事提供と違う試みを行なったことで、入居者から喜びの言葉が多く聞かれた。
- ・七夕会や新年会等の行事食は、ご家族を招き、普段の食事とは違った賑やかな雰囲気の中で食事を楽しんでいただくことができた。

資料 1 <入居者の状況>

① 入退所状況

単位：人（実数）

入所前の待機場所						
待機場所	在 宅	長期間 ショート	老健等 他施設	病 院	法人グルー プホーム	合 計
28 年度	1	0	1	3	2	7
27 年度	0	0	1	1	1	3

退所の状況					
状 況	在 宅	施設内で死亡 ※1（ ）	病 院	他施設	合計
28 年度	0	6（3）	0	1	7
27 年度	0	3（3）	0	0	3

※1（ ）ターミナルケア計画に基づき、施設内で看取りを実施した数

② 年度末介護度別数

単位：人（実数）

年度	介護度	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
	28 年度		0	0	4	13	12
27 年度		0	0	5	8	16	29

③ 月別利用数

単位：人（延べ数）

28 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	866	895	870	880	881	870		
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	899	851	844	838	779	884	10,357	97.8
27 年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	840	884	861	885	894	869		
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	897	868	899	893	836	893		

④ 介護度別利用数

単位：人（延べ数）

28 年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	0	0	1,582	3,907	4,868	10,357	4.32
27 年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	0	0	1,739	3,005	5,775	10,519	4.39

⑤ 日常生活動作

単位：人（実数）

生活動作尺度	区 分	28 年度	27 年度
移 動	独歩	0	1
	介助・介助具使用	4	4
	車椅子	25	24
食 事	自立・見守り	14	11
	一部介助	5	10
	全介助	6	6
	経管栄養	4	2
排 泄	トイレ 自立	2	3
	一部介助	2	0
	全介助	10	10
	ポータブルトイレ	0	0
	自立	0	0
	一部介助	0	0
	全介助	1	2
	オムツ	13	13
	フォーレ	1	1
入 浴	一般浴（座浴）	15	18
	特浴	14	11

⑥ 食事形態（平成 29 年 3 月 31 日現在）

単位：食（実数）

主食		副食	
米飯	7	普通	6
おにぎり	1	刻み	7
粥	13	超刻み	9
ミキサー	3	ミキサー	3
パン	1	ムース	0
流動食	4	流動食	4

資料 2 <余暇活動等>

余暇活動の実績

単位：人（延べ数）

月	余暇活動内容	参加人数
4	お花見ドライブ	3
	喫茶	21
5	カラオケ外出	2
	喫茶	19
6	喫茶	21
	春の花めぐりドライブ	3
	ケーキ外出	3

月	余暇活動内容	参加人数
6	悠久山外出	3
	ユニット茶話会	9
	三角ちまき作り	10
7	喫茶	25
	お茶会（かき氷）	10
	アイスパーティー	9
	たこやき作り	10
	七夕祭り	29
8	喫茶	23
	長岡花火	2
	花の里花火大会	24
9	喫茶	27
	敬老会	29
	パンケーキ祭り	10
	すこやかともしび祭り外出	6
	たこやき作り	9
	お好み焼きパーティー	10
	ハイブ長岡外出	3
10	喫茶	22
	ドライブ	2
	プリンアラモード作り	10
	おやつパーティー	10
	芋煮会	9
	芋掘り	10
	11	喫茶
ユニット茶話会		9
紅葉めぐり（八方台）		3
そば打ち		25
12	喫茶	22
	クリスマス会	29
1	喫茶	28
	お汁粉で温まる会	9
	どらやきパーティー	10
	新年会	29
2	喫茶	11
	甘味処やまぶき	10
	アイスクリームを冬に味わう会	10
3	喫茶	20

月	余暇活動内容	参加人数
3	ユニット茶話会	23
	お茶会	9
合 計		650

(2) グループホーム花の里かつぼ

- ・年度初めより感染症がまん延し入居者2名が入院したことが稼働率低下に影響した
- ・入居者及び家族の意向を汲み取り、地域に目を向け活動環境の拡大を図った。地域に出て役割を持ち活動する事で、学生等外部の方との交流に繋がり、入居者の生活意欲向上にも繋がった。学生寮でのボランティア活動・学生との交流については、野球の全国誌にも掲載され、入居者・ご家族から大変喜ばれた。
- ・2か月に1回、地域住民の代表・家族・利用者・地域包括支援センター職員から参加頂き地域運営推進会議を開催した。参加者に幅広く事業内容や活動を知って頂く機会となった。参加者から「日頃の活動について話を聞くのが楽しみでした、入居者も重度化する中で良くされていられると思います。」等の感想を頂いたとおり、継続的に活動を行うことにより、地域への関わりや入居者の健康増進につながった。
- ・学生との交流や地域活動の取り組みについて、長岡市の研修会や新潟県老人福祉施設協議会研究大会にて活動報告を行なった。また、認知症介護研究・研修センターから講師の依頼を受け津南町においても報告を行なった。参加者から高い関心と評価を頂いたことで、職員の地域活動を行う意義の再確認に繋がり、さらに創意工夫が図れるようになった。

資料<入居者の状況>

① 入退居の状況

単位：人（実数）

入居前の状況					
状 況	在 宅	長期間 ショート	老健等 他施設	病 院	合 計
28年度	4	0	0	1	5
27年度	2	0	0	0	2
退居の状況					
状 況	在 宅	施設内で死亡	病院入院	特養へ入所 ※1（ ）	合 計
28年度	0	3	0	2(1)	5
27年度	0	1	0	1(1)	2

※1（ ）内は法人内施設への入居された方の数

② 年度末介護度別数

単位：人（実数）

年度	介護度						
	要支援2	1	2	3	4	5	合計
28年度	0	0	5	5	6	2	18
27年度	0	2	5	5	5	1	18

③ 月別利用数

単位：人（延べ数）

28年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	485	552	526	543	544	527	6,424	
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	551	539	549	555	496	557		
27年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	538	542	540	553	545	540	6,539	
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	551	537	557	555	522	558		

④ 年度介護度別数

単位：人（延べ数）

28年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	681	1,384	1,483	2,135	745	6,424	3.14
27年度	介護度	1	2	3	4	5	合計	平均介護度
	人数	1,053	1,454	1,471	1,993	567	6,539	2.94

⑤ 余暇活動の実績

単位：人（延べ数）

月	余暇活動内容	参加人数
4	花見ドライブ	13
	ラーメン祭り	18
5	山本地区花フェスタ	3
	浦瀬小運動会	1
	駅前プランター整備活動	4
	中越高校寮掃除	8
	高龍神社ドライブ	14
	浦瀬セブンイレブン買い物	4
	田井セーブオン買い物	1
ハイブ長岡見学	1	
6	大風合戦	10
	おはぎ作り（ご家族6名、地域の方13名、共用デイ3名参加）	21
	しらさぎ公園ドライブ	9
	中越高校寮の掃除	3
	駅前プランター整備	9
	ハイブ長岡見学	8
	コメリ川崎店	1
	水穴集会所草取り	1
	水穴町食事会	1
ステーキさるーん	1	
7	夏祭り（ご家族12名、地域の方2名共用デイ利用者3名参加）	18

月	余暇活動内容	参加人数
7	中越高校野球部応援千羽鶴	9
	高校野球観戦（うち共用デイ利用者1名）	2
	中越高校寮掃除	2
	野球部監督室掃除	3
	駅前プランター整備	5
8	みやじさま外食	9
	中越高校寮掃除	5
	納涼祭	16
	川西屋アイス買い物	6
	ラーメン三昇	4
9	長寿を祝う会（ご家族16名参加）	18
	すこやかとしび祭り（共用デイ2名参加）	11
	芋煮会	18
	中越高校寮掃除	4
	パティオ新潟外食	8
	山本中体育祭見学	2
	中越高校文化祭見学（共用デイ1名参加）	2
10	栃尾道の駅錦鯉品評会（共用デイ1名）	2
	桂小ソフトバレーボール大会応援（共用デイ1名参加）	3
	宝徳稲荷参拝	8
	長岡駅前ドライブ	2
	栃尾おいらこの湯足湯	9
	悠久山公園	7
	防災公園（共用デイ2名）	6
	イングリッシュガーデン	11
	ハイブ長岡見学	6
11	山本コミセン文化祭（共用デイ2名）	5
	中越高校野球部監督室掃除	2
	中越高校寮掃除	4
	高龍神社紅葉見物	8
	国上、国上寺、寺泊ドライブ	4
	大平森林公園	10
	江口団子本店	5

月	余暇活動内容	参加人数
11	長岡市内ドライブ	4
	東山ファミリーランド	9
	見附市内ドライブ	2
	ラーメン祥気外食	2
12	大掃除・忘年会（ご家族 16 名、共用デイ利用者 3 名、見学者 2 名）	18
	運動会	18
	ふそきセンターカラオケ	3
	かつぼ歌謡クラブ	5
	中越高校寮掃除	5
	野球部監督室掃除	2
	ふれあい食事会	2
1	水穴町賀詞交換会	1
	ネーブル見附	2
	東山ファミリーランド	4
	悠久山小動物公園	5
	パティオ新潟	6
	ダイソー新保店買い物	2
	中越高校寮掃除	4
	かつぼ園習字クラブ	2
	たこやきパーティー	18
2	節分	18
	中越高校寮掃除	4
	見附イルミネーション見物	13
	かつぼ園歌謡クラブ	3
	江口団子本店買い物	3
	悠久山猿山（共用デイ 1 名）	5
3	川崎周辺ドライブ	2
	長生橋、日越ドライブ	2
	長岡駅周辺ドライブ	7
	東山ファミリーランド	2
合計		538

⑦ クラブ活動の実績

クラブ名	実施回数	参加人数
書道教室	11	160（うち共用デイ利用者 30）

(3) デイサービス花の里かつぼ

- ・居宅介護支援事業所と連携を図り、ご利用者・ご家族へ適切なサービスが提供できるよう努めた。グループホーム・デイサービス合同の行事には、デイサービス利用者ご家族にも参加頂き、グループホームの日頃の様子を見て頂いた。グループホーム入居に向けて前向きに捉えて頂ける良い機会となった。また、利用者個々のニーズに沿って個別外出等の日程により利用の声掛けをし、楽しみや張り合いのある生活支援に努めた。
- ・通所介護計画に基づき、家庭的な雰囲気の中で利用者の能力に応じた日常生活動作の継続支援・他余暇活動・外出活動等を実施することができた。

資料<利用者の状況>

①登録者数 単位：人（実数）

区分 年度	長岡市
28年度	7
27年度	6

②利用者数 単位：人（延べ数）

区分 年度	長岡市	稼働日数	1日あたり 平均人数
28年度	707	365	1.93
27年度	666	366	1.88

③ 月別利用数 ()内は介護予防通所利用数 単位：人(延べ数)

年度	月	4	5	6	7	8	9	合計	稼働率
	人数	73 (0)	82 (0)	77 (0)	69 (0)	65 (0)	60 (0)		
月	10	11	12	1	2	3			
人数	67 (0)	44 (0)	43 (0)	46 (0)	39 (0)	42 (0)			
27年度	月	4	5	6	7	8	9	666 (0)	30.3%
	人数	57 (0)	54 (0)	63 (0)	54 (0)	55 (0)	49 (0)		
	月	10	11	12	1	2	3		
	人数	58 (0)	50 (0)	54 (0)	59 (0)	47 (0)	66 (0)		

④ 介護度別利用者数 単位：人(延べ数)

28年度	介護度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人数	0	193	243	268	3	0		

27 年 度	介護 度	要支援	1	2	3	4	5	合計	平均 介護度
	人 数	0	277	195	191	3	0	666	1.88

2. ボランティア・実習生等の受け入れ状況

(ボランティアの受け入れ)

単位：人(延べ数)

区 分		28年度	27年度	
ケアセンタ ー花の里か つぼ	定期	個人ボランティア	55	59
		団体(グループ)ボランティア	30	36
	随時	個人ボランティア	1	6
		団体(グループ)ボランティア	92	80
		保育園・学校等	38	167
	合 計		216	348

(実習生の受け入れ)

単位：人

受入事業所	区 分	28年度		27年度	
		実人員	延日数	実人員	延日数
特養花の里 かつぼ グループホーム 花の里かつぼ	長岡こども福祉カレッジ専門 学校 (介護実習)	2	2	6	100
	新潟県社会福祉協議会 (福祉職場体験)	1	5	0	0
	北陸食育フードカレッジ (管理栄養士業務実践実習)	4	8	7	28
	新潟県立長岡豊学校 (高等部現場実習)	0	0	0	0
	新潟県認知症実践者他施設実 習 (認知症実践者研修)	2	2	0	0
合 計		9	17	13	128

3. 拠点委員会

① リスク管理委員会

事故を未然に防ぐため、危険予知トレーニングやヒヤリハットの集計と分析、ヒヤリハット報告書や記録の重要性を伝える為に勉強会を実施した。それにより気づきの感性や職員の事故を未然に防ごうとする意識が高まり、昨年度よりも件数が少なくなった。今後もヒヤリハットをあげる際、各部署で要因分析と改善、対策が今まで以上に的確に記入されるよう力を入れいく。

② 食事サービス委員会

食事を美味しく楽しく召し上がっていただけるよう、入居者より茶話会や日々の関わりの中で得た食事についての意見・要望を把握したうえ、入居者に喜ばれる食事提供に努めた。

③ 感染対策委員会

ノロウイルス感染者はいなかったが、インフルエンザについては、入居者 1 名職員 2 名が発症したが施設内蔓延防止することができた。流行期（11 月～3 月）には、面会者へ手洗い、うがい、マスク着用の声かけを行ない感染予防の働きかけを徹底して行った。今後も感染予防に対する意識を高め予防に力を入れていきたい。

④ 労働衛生委員会

職員の定期健康診断を年 1 回（夜勤者は年 2 回）実施し、有所見者に対しては、受診等して指導を受けてもらった。婦人科健診は希望者全員が実施することができた。また職員の腰痛予防のために、朝礼時に声掛けしポスターを掲示することで腰痛予防の啓発を行なった。その他入居者の移乗方法等検討し腰に負担がかからないようにしたところ腰痛になる職員は 1 人もいなかった。メンタルヘルスについては健康診断時ストレスチェックを行ない自分のストレスの状態を確認してもらった。メンタルヘルス研修時に施設全体のストレス動向を伝えた。今後も職員の健康、腰痛予防、メンタルヘルスに力を入れていきたい。

⑤ 身体拘束廃止委員会

年 2 回、身体拘束と虐待防止に関する職員研修会を実施し、身体拘束や虐待に関する意識付けを図ることができた。その他に月次スローガンの掲示や感知マット、タッチコールの管理等を新たに取り組むことができた。

⑥ 園芸委員会

花壇イベントや花いっぱいコンクールへの参加を中心に活動し、入居者や家族、地域住民から「きれいだね」等の声を頂くことができた。また、水やり分担表を作成し全職員の協力を得て実施し花壇管理を行なうことができた。今後も草取りが課題であるため、地域ボランティア・入居者家族の協力を得ながら、職員も委員中心に草取りを行なっていきたい。

⑦ 防災委員会

防災計画に基づき、放送設備訓練・緊急連絡網訓練等の部分訓練をはじめ、年 2 回の地震・火災を想定した避難訓練や防災教育を実施し職員の意識及びスキル向上を図った。また、本部事務局と連携を図り、土砂災害を想定した避難訓練を行い職員の意識向上を図った。

⑧ 痰の吸引等安全対策委員会

医師より痰の吸引の指示を受けている入居者は 2 名となった。職員に対して安全に痰の吸引ができるように実技研修を行なった。その他物品の点検、管理を定期的に行なった。

4. 苦情（意見）内容

特別養護老人ホーム花の里かつぼ	①内容	申出人：本人 介護職員の言葉や行動が適切でないとの訴えがあり、改善して欲しい。
	想定原因と処理	職員がトイレ誘導のため車イスへの移動介助の際、声かけが不足し、急かされての移動介助となった。本人は急かされることを嫌い不快な思いを与えることとなった。
	改善策（結果）	本人へ謝罪し、介助の際は懇切丁寧な声かけと本人のペースで介助することを説明し納得いただいた。また、全職員へ不快な思いを与えることのないよう、思いやりのある言動を行うよう周知・徹底を図った。

【シルバーハウジング生活援助員派遣事業】

シルバーハウジング（高齢者世話付住宅）は、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、生活相談、安否確認や緊急対応などを行う「生活援助員（LSA）」を配置した住宅のこと。現在、市内には3ヶ所のシルバーハウジングがあり、長岡市より当法人が生活援助員派遣事業として受託しているもの。

平成28年4月1日～平成29年3月31日

シルバーハウジング稽古町

稽古町団地県営住宅のうち20戸（平成13年から）

	内容(対応)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	緊急呼出し件数	誤報	4	1		1			2		1	6	4	1
救急車手配						1					1			2
市役所連絡		2	1		1	2			1		1	2	3	13
家族連絡		1				4	2			4	2	2	3	18
医療・福祉機関連絡		6	2	3	3	6	3	9	4	2	8	3	2	51
その他														0
入退室状況		住替え(施設入所等)					1			1		1		1
	入院等													0
	他界													0
	その他													0

※入居者の高齢化が顕著であり、様々な病気を発症するケースが増えている。それに伴い長岡市、地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所等と連携を取り支援する状況が多くみられた。

平成28年4月1日～平成29年3月31日

シルバーハウジング千歳町

千歳団地市営住宅のうち20戸(平成18年から)

緊急呼出し件数	内容(対応)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	誤報	0	0	3	1	0	0	3	3	2	1	2	1	16
救急車手配													0	
市役所連絡													0	
家族連絡													0	
医療・福祉機関連絡													0	
その他													0	
入退室状況	住替え(施設入所等)													0
	入院等			1			1		1		1			4
	他界													0
	その他													0

※入居者の高齢化は進んでいるが、比較的落ち着いて過ごされている。

シルバーハウジング稲葉団地

稲葉団地市営住宅のうち20戸(平成26年から)

緊急呼出し件数	内容(対応)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	誤報	1	1	3	2	0	2	1	0	3	1	0	0	14
救急車手配													0	
市役所連絡		1											1	
家族連絡			1										1	
医療・福祉機関連絡	1	1		1									3	
その他													0	
入退室状況	住替え(施設入所等)								1					1
	入院等			2				3				1		6
	他界						1							1
	その他													0

※誤報については、水の止め忘れによる通報が多くみられた。また状態低下により入院や施設入所となった方もおられた。